

>>> 市会レポート 2010年 Vol.8 ◆第2回定例会報告◆ <<<



保育サービス案内役

「保育コンシェルジュ」創設を提案

横浜市議員 高橋まさはる

公明党 横浜市会議員団 政務調査会長

1959年岡山県倉敷市玉島生まれ

02年 東芝ソシオシステムズ（株）退社

03年 横浜市議員に初当選／現在2期目

◎事務所／緑区中山町320-5 ☎045-929-5305



横浜市の待機児童数は平成22年4月時点ですべて昨年より262人増加、1552名となり、21年度中に1400人の認可保育所の定員増を図りましたが、待機児童は増加。社会に進出する女性が増えていることが背景にあり、その就労形態の多様化への対応も望まれています。

6月16日の本会議において、緑区の認可外保育施設と幼稚園それぞれの特色を生かした連携による取組みを紹介し、待機児童解消について、質問しました。
(1)様々な保育資源を活用して保護者の就労形態にあった多様な保育サービスを提供する取組みを進めるべき、(2)市内289カ所の幼稚園で「預かり保育事業」を実施している園がわずか25%という現状をふまえ幼稚園へどのように働きかけているのかと質しました。

林文子横浜市長は(1)市立保育所や横浜保育室、私立幼稚園等の既存の保育資源の有効活用、一時預かりの拡充等、きめ細かく総合的に取り組む、(2)預かり保育の実施条件緩和と、本年度創設の「預

保育所と幼稚園の連携で待機児童の解消を

かり保育事業」の未実施園への制度の周知、事業説明会、個別訪問による協力要請を行っているとの答弁があり、さらなる子育て施策推進への決意が述べられました。

私は現場の声をカタチに！との思いから、多様な保育資源を保護者のニーズにマッチしたサービスを案内する「保育コンシェルジュ」の創設を提案し、早期の実施を求めました。

在宅の子育てから保育所、幼稚園、小学校教育への円滑なつながりが人間形成にとって大変重要です。今後も“こどもたちのための総合的な施策”的充実のため、さらに現場に足を運び、一所懸命に取組んでまいります。



● 緑区の認定外保育所を視察
未来を担う子どもたちと対話

★公式サイト www.masaharu.info ★お問い合わせ office@masaharu.info